

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	アートチャイルドケアSEDスクール札幌桑園		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2026年 10月 31日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	51	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 10月 15日 ~ 2026年 10月 31日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 0
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 19日		

## ○分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	指導員全員が資格保有者で、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士、公認心理師と多職種が在籍している。	その日担当したお子様の様子で気になることがあった時は、専門分野の指導員に質問し助言をもらい、カンファレンスで情報共有を行い多角的に支援している。	お子様の課題や得意なことを職員全員が把握し、お子様の特性に合わせた活動を、職員みんなで話し合って考える。
2	指導員の各分野での経験年数が長く、知識が豊富。	保護者様とのフィードバック時、前職での経験を活かし助言している。	指導員間でも、知識の共有をし、より質の高い療育ができるよう努めていく。
3	親子通所で保護者様が療育を見ることができ毎回保護者様とのフィードバックの時間があり、保護者支援を手厚くすることができる。	保護者様の話を傾聴した上で助言をし、保護者様と統一した支援を行う。	指導員の情報共有を怠らず、チームとして支援していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域住民と交流する機会を設けるのが難しい。	野外活動や外出する行事、地域の行事に参加する機会がないため。	法人内の岡山早島プラザで行っている取り組みを参考に、事業所でできる行事を開催し、地域住民を招待する。